
『最後に笑うのは誰か』番外編 2 - 天の居場所

小湊茉莉絵

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『最後に笑うのは誰か』番外編2 - 天の居場所

【Nコード】

N5355BA

【作者名】

小渕茉莉絵

【あらすじ】

『最後に笑うのは誰か』の、土屋家に伝わる昔話。ネタばれ有(？)かもなので、本編を読まれてから読んでいただくと、嬉しいです。

宇宙とともに生まれた神は、自分の分身に特殊な力を与えた

（前書き）

ネタばれ有（？）かもなので、本編を読まれてから読んでいただくと、嬉しいです。

その昔

何も、なかった昔

最初の生命体が、ビックバンとともに生まれた
のちに女神と称される彼女
名前は、定かではない

生まれたての宇宙の物質を集めて、後に言う“惑星”を造った

女神はその惑星に、自分の力を残そうとした
自分が没したときも、平和であるようにと

そこで、分身を造った

寒くないように、炎の分身
熱くないように、水の分身
没した自分をたたえるように、土の分身
分身たちを助けるように、救急の分身
これからもこの星が発展するように、創造の分身

自分の力を、与えた

「お前たちはよく頑張った。私はもう、ここで生きられません。お

前たちに、託します。」

「はい、女神さま。」

「お前たちは、助け合いながら、生きなさい。一族を作り、私を称え、生きなさい。」

「はい、女神さま。」

「誓約と証として、お前たちに名前も与えましょう。“ツチヤ”と名乗りなさい。」

「はい、女神さま。」

「“天の居場所”、という意味です。」

そして女神は消えていき
時を重ね

今の土屋家がある

それが

土屋家の誇り

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5355ba/>

『最後に笑うのは誰か』番外編2 - 天の居場所

2012年1月14日20時47分発行